

2011年度以降の環境自主行動計画〔循環型社会形成編〕【概要】

2010年12月14日
(社)日本経済団体連合会

基本的考え方

2011年度以降も「産業界全体の目標(産業廃棄物の最終処分量削減)」と「業種別独自目標」によって積極的に3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進する。

1. 産業界全体の産業廃棄物の最終処分量削減に関する新たな目標

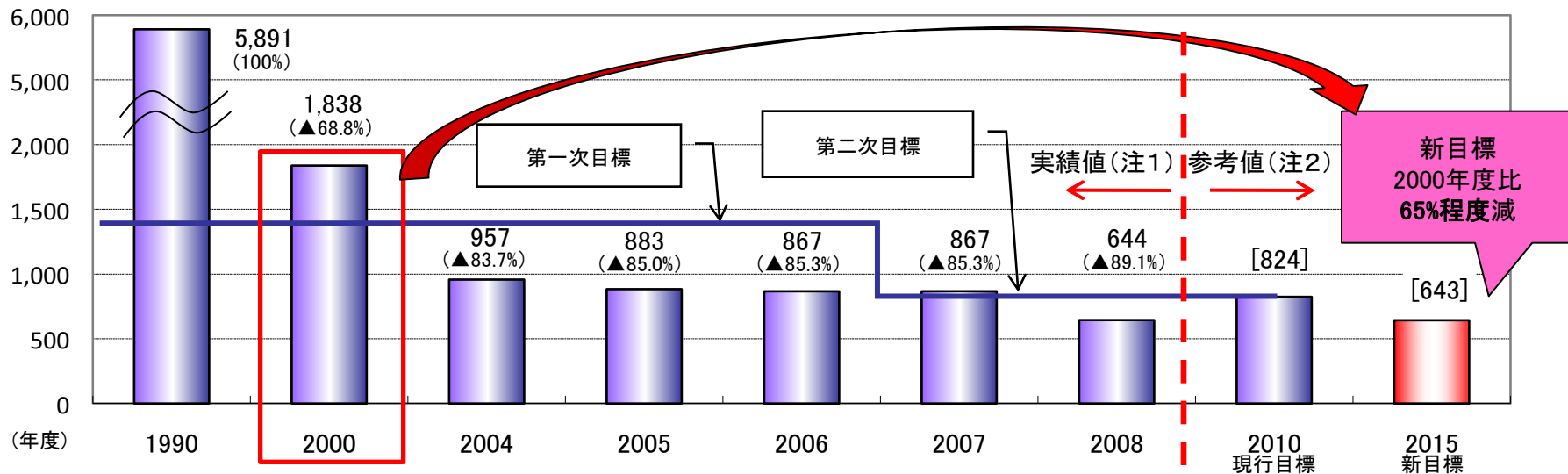
(1)産業廃棄物最終処分量削減について、「2015年度に2000年度実績の65%程度減」を産業界全体の目標とする。

※これまでの目標:2010年度に1990年度実績の75%減(第一次目標)、86%減(第二次目標)

(2)目標の達成に向け、経団連として、廃棄物処理法の見直しや運用改善を政府に対して引き続き求める。

【産業界全体からの最終処分量実績と新たな目標】

(単位:万トン)



注1:2008年度までの実績値は、2009年度フォローアップ調査における最終処分量。()内に1990年度の産業廃棄物最終処分量実績に対する減少率を記載。

注2:2010年度現行目標、2015年度新目標の[]内の最終処分量は、2009年度フォローアップ調査をベースに計算した参考値。

2. 業種別独自目標の設定・改善

(1)産業廃棄物最終処分量の削減目標以外に、各業種の特性や事情等を踏まえた適切な目標がある場合には独自目標(例:再資源化率、事業系一般廃棄物処分量)として設定し、3R促進に取り組む。

(2)各業種の独自目標の設定にあたっては、定義等を分かりやすく説明することに努める。